

# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

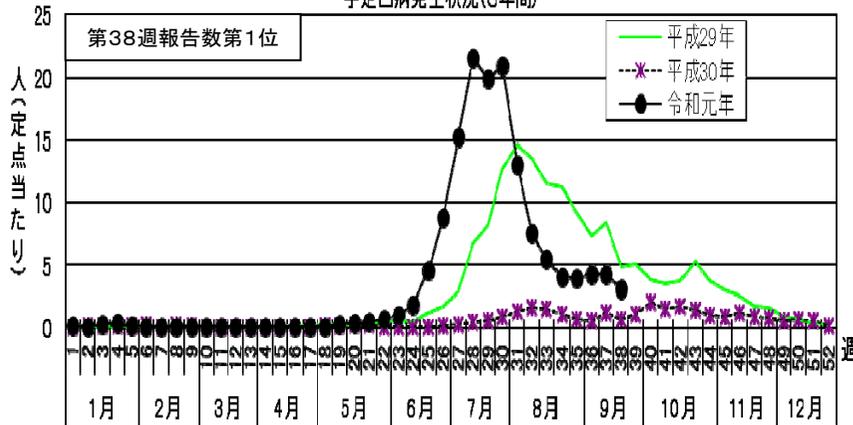
令和元年9月16日（月）～令和元年9月22日（日）〔令和元年第38週〕の感染症発生状況

第38週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 手足口病の定点当たり患者報告数は3.08人と前週（4.22人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.94人と前週（2.92人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.08人と前週（2.33人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

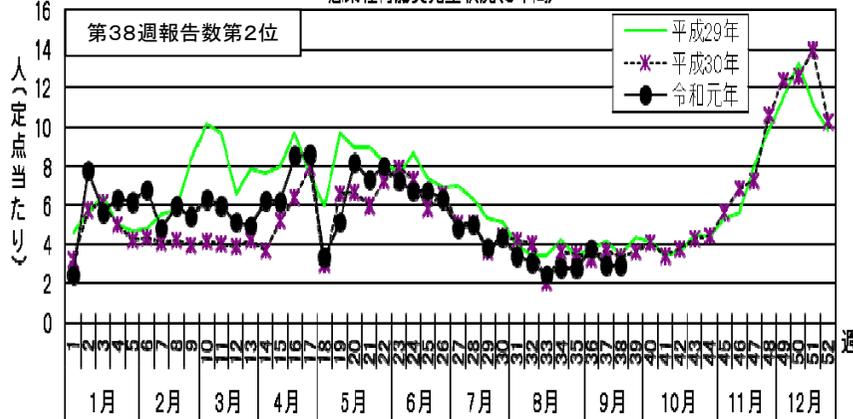
★結核菌★  
 テーペーくん



手足口病発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



## 結核予防週間～正しい診断をより早く～

令和元年9月24日から9月30日までは結核予防週間です。

結核は、我が国における主要な感染症の一つで、平成30年には国内で新たに15,590人が患者として登録され、2,204人が亡くなっています。結核罹患率は年々減少していますが、欧米諸国と比べて未だ高い状況です。

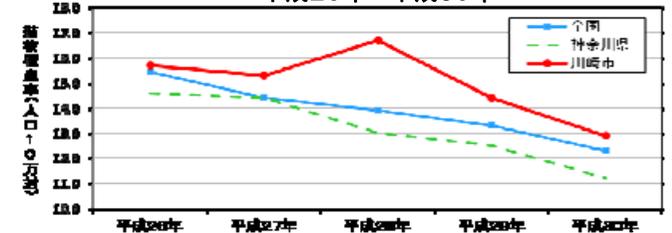
川崎市では、平成30年の結核罹患率は12.9（人口10万対）と、前年（14.4）と比べて減少しているものの、全国（12.3）や神奈川県（11.2）よりやや高い状況にあります。

結核の症状は特徴的なものがないため、特に高齢者では気付かないうちに進行してしまうことがあります。長引く咳などがみられた際は、早めに医療機関を受診し、「いつもと違うところ」を主治医に伝えましょう。

諸外国と日本の結核罹患率

国名	罹患率	年次
米国	2.7	2017
デンマーク	4.4	2017
オランダ	4.6	2017
カナダ	4.9	2017
スウェーデン	4.9	2017
オーストラリア	5.9	2017
イタリア	6.4	2017
ドイツ	6.5	2017
フランス	7.4	2017
英国	7.9	2017
日本	12.3	2018
シンガポール	41	2017
中国	55	2017
韓国	66	2017
ベトナム	108	2017
タイ	116	2017
インドネシア	167	2017
フィリピン	302	2017

全国、神奈川県、川崎市における結核罹患率の年次推移  
 -平成26年～平成30年-



このようなことに心当たりはありませんか？

- たんのからむ咳が2週間以上続いている
  - 微熱・身体のだるさが2週間以上続いている
- ひとつでもチェックが入った“その時”は、結核の可能性がります。

WHO（世界保健機関）の集計より



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域みまもり支援センター  
 (福祉事務所・保健所支所)

(問い合わせ先) 044-276-8250